

2023年2月3日

## 広島市よりごみ焼却施設の建替及び運営事業を受注

日立造船株式会社を代表とする企業グループは、このほど、広島市（松井一實市長）より DBO（Design：設計/Build：建設/Operate：運営）方式による「南工場建替及び運営事業」を受注しました。

本件は、広島市が現在行っている3工場体制（中工場、南工場、安佐南工場）による安定したごみ焼却処理システムの確立と、循環型社会の形成及び脱炭素社会の構築のため、老朽化が進行している南工場を建て替えるために実施されるもので、2028年10月からの供用開始を予定し、当社が設立する特別目的会社が19年6ヶ月間の運営を行います。

新工場のごみ処理能力は300トン/日（ストーカ式焼却炉：150トン/日×2炉）であり、焼却の過程で生じる排熱を利用し、ごみ発電を行います。発電効率は20.5%以上であり、広島市のクリーンエネルギー創出に大きく貢献できます。

本件では、広島市が掲げる「環境にやさしい施設」「災害に強い安全安心な施設」「ライフサイクルコストに優れた施設」「魅力ある空間の創出」の4つの施設整備基本方針をもとに技術審査が行われましたが、当社グループの提案が高く評価され、受注に至りました。

当社は、1965（昭和40）年に日本初のごみ焼却発電施設を大阪市に納めており、グループ累計で国内500件以上のごみ焼却施設を納めております。ごみ焼却発電はクリーンエネルギーの1つであり、安定電源かつ地産地消の電源としても期待されています。当社はごみ焼却発電施設の普及や研究開発等を通じ、今後とも地域循環型社会の形成に努めていきます。

なお、本件の概要は以下のとおりです。

1. 発注者：広島市（松井一實市長）
2. グループ構成：代表企業 日立造船株式会社 中国支社  
構成員 五洋建設株式会社 中国支店
3. 建設地：広島市南区東雲三丁目
4. 施設規模：300トン/日（ストーカ式焼却炉：150トン/日×2炉）
5. 事業期間：設計・建設期間 2022年12月～2028年9月末  
運営期間 2028年10月～2048年3月末
6. 受注金額：447億9,000円（税抜き）

（終）